



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

地域とともに！今年もお城祭りに参加しました！



10連休の初日の4月27日、28日「日本百名城 人吉お城祭り」が開催されました。

人吉医療センターからも、27日のパレードに参加し地域のみなさんとともに九日町通りを踊り歩きました。

今年は、我が家も張り切って、39歳の夫を筆頭に5歳、3歳、1歳の子どもを連れ総勢5名で参加しました。

今回のパレードには27団体、約1160名の参加があり、それぞれの団体が工夫を凝らした思い思いの衣装、演出で、昔懐かし球磨の六調子音頭と、サンバ六調子のリズムに乗って人吉の夜の町を練り歩きました。医療センタースタッフも、ビタミンカラーのオレンジ色のハッピーを着用し、手に持った風船を沿道の方に配りながら賑やかに楽しくパ

レードしました。我が家の子ども達も手に風船を握って、元気よく踊り、1歳の息子もベビーカーに乗って、ご機嫌にパレードに参加していました。

病院長の軽快なステップ、日頃まじめな先生方やスタッフの弾けた踊りっぷりなど、普段見ることのできない、新たな一面を発見することができ、より一層職員同士が緊密になることができたのではないかと思います。

過去には地震でお祭りが中止になった年もありましたが、令和は災害のない良い時代であることを願い、地域とともにこれからも歩んで行きたいと思います。

医療福祉連携室 杉松 紗織

腫瘍内科 のご紹介

5月より国立病院機構 熊本医療センター腫瘍内科の境健爾先生が、1・3水曜日の緩和ケアチーム活動や各カンファレンスを中心に、治療方法や心理社会的支援について院内からのコンサルテーションに対応していただけることとなりました。境先生は、癌の診断から治療、緩和医療、終末期まで習熟しておられ、職員も学ばせて頂くことが沢山あります。

腫瘍内科が行うがん診療の特徴

- 1) 十分な病状説明（予後・今後の見通しを含めた説明）
- 2) 目的や病状に応じたがん診療の提供
 - ①積極的治療とその経過
 - ②緩和的（延命的）化学療法とその経過
 - ③終末期の経過（余命1～3ヵ月）
- 3) 生活を支える「がん相談支援センター」（がん専門相談員、緩和ケアチーム）
- 4) 地域に根ざしたチームによる医療連携



腫瘍内科では、癌と診断された時から、癌そのものの治療だけではなく、社会背景や生活の質を担保することを診療の特徴として挙げられています。

球磨地域で完結するがん診療を向上させるために、当院はがん診療の専門施設として、医院・クリニックや一般病院と協力し、またがん治療のエキスパートと力を合わせ、理想的ながん医療を進めていきます。

TCTAP 2019に参加して

2019年4月27日から30日にかけて韓国のソウルで開催されましたTCTAP 2019（冠動脈や下肢動脈のカテーテル治療や弁膜症のカテーテル治療などに関した国際学会の一つ）で、当院で行った下肢動脈に対するカテーテル治療の症例報告を発表する機会を頂き参加してきました。

国際学会ですので英語で口演発表と質疑応答が行われる事（英語がとても苦手）と、お隣の韓国とはいえ、海外へ一人で行くのは初めてであった事などから緊張だらけの学会でした。出発の段階から搭乗予定の飛行機が大幅に遅れるなどのトラブルもあり、ソウルのホテルに到着したのは夜中の1時で、わずかな仮眠（というか、緊張で眠れず）のみで、早朝から学会に出向いて発表をしてきました。口演発表は拙い英語ながらも原稿なしで無事発表できました。質疑応答では、普通は質問1～2個くらいのところが、発表内容に皆興味を持ってしまったようで、私の時は細かい質問も含めて5個質問されましたが、多少のグダグダ感があつたものの何とか乗り切る事ができました。ただ、英語力の弱さゆえに自分の考えを十分に伝える事ができないところもあり、そこは今回の大きな反省点として考えさせられました。その後は、学会の色々なセッションを回り、他の国の循環器医もなかなかやりおるな、と感心させられ、今後の診療や勉強に対するモチベーションが高まりました。ホテルに帰って少し仮眠のつもりが爆睡してしまい、翌朝一で日本への帰路につくことになったのでソウル観光はゼロでしたが、帰国して博多駅で食べた牛タン定食はとりあえず最高でした。

準備の段階から色々大変な学会でしたが、多くの知見や反省点を得ることができましたので、それらを今後に生かして、更に良い診療ができるように引き続き精進していきたいと思います。

循環器内科 尾上 喜郎



在宅医療サポートセンターキックオフ! ～ご存じですか ACP?～

ACP (Advance Care planning) とは、イギリスの National Health Service (NHS) が2008年に提唱した Gold Standards Framework (GSF: 判断基準の枠組み) の中で主要な課題として挙げられました。それによると、「将来の意思決定能力の低下に備えての対応プロセス全体のことであり、患者の価値をはっきりさせ個々の治療選択だけでなく生き方を含めた全体的な目標を明確にさせること」とされています。

当院でも多部署から編成された ACP チームを立ち上げ、4月23日に第一回目の会議を開き、当院の役割と今後の目標について話し合いを行いました。

そして早速、4月25日のくま川がんサロンにて～もしもの備え～と題して ACP について案内を行いました。参加者の方から、親子での話し合いはしているが夫婦間では難しい、ノートは持っているが書いていない、地域の会合で話して欲しい、若い方にも知って欲しい等様々なご意見・感想をいただきました。



いただいた声を生かして今後、院内での勉強会開催や周知活動はもちろんの事、行政と協力し、地域住民、地域の医療機関・介護スタッフ等への周知活動を行い、地域全体として住民の方の ACP に取り組んでいきたいと思っています。

準備が整いましたら出前講座も行いますので改めてお知らせ致します。

医療福祉連携室 杉松 紗織

緒方俊一郎先生、赤ひげ大賞受賞おめでとうございます!!

赤ひげ大賞は、日本医師会と産経新聞社が主催となり、地域に密着して人々の健康を支えている医師の功績を顕賞し、広く国民に伝えるとともに、次代の日本を支える地域医療の大切さをアピールする事業として平成24年に創設された賞です。第7回日本医師会あかひげ大賞に、全国の都道府県医師会から推薦された医師の中から、緒方医院の緒方俊一郎先生が長年の功績を顕賞され、受賞されました。

緒方俊一郎先生は、球磨郡医師会の医師会長をされておられるところから、当院の登録医としてご登録をいただき、在宅で過ごされている患者さんから、入院や施設介護が必要な患者さんまで幅広く、医療連携にご尽力いただいております。

様々なメディアに掲載されている緒方先生の著述やインタビュー記事を拝見すると、先生が、「相手の身になる」という姿勢を大切に診療をされていることが良く分かります。地域のニーズに応え、特別養護老人ホームを設立し、吃音の子どもさん達の訓練ができるように言語療法科を設けられる、その時その時の地域の住民の方の声に耳を傾け一緒に考えていかれる姿勢は、医療者のみならず全ての人が学ぶべき生き方ではないかと思います。

これからも、地域医療の発展にご尽力いただき、医療者の鏡として末永くご活躍いただきますよう祈念いたします。



緒方先生

JCHO 新人研修

平成31年4月21日、22日の2日間、熊本総合病院にてJCHO 新人研修に参加させて頂きました。研修内容としては、JCHOの理念及び発足の経緯、JCHOが取り組んでいる内容や今後のミッション、病院における接遇マナーなど、様々な講義がありました。

研修に参加することで、独立行政法人の職員として高い理念を持つこと医療人として自己研鑽に努め知識や技術の向上を図ることの大切さを自覚する機会となりました。

研修を受講する中で特に印象に残った講義がありました。それは、今後の医療の展開についての講義でした。現在の日本は

急速な高齢化により、今後は国民の医療や介護の需要が増加することが見込まれています。このことに講じ国やJCHOでは地域包括ケアシステムを推進しているのが現状です。その中で、私たちができることは、患者さんが自分らしい生活を送れるように多職種との連携を図り、支援・援助していくことだと研修を通じて気づかされました。新人の私は業務を覚えることに必死で、患者さんや多職種とのコミュニケーションを図れていないのが現状ですが、今後は意欲的にコミュニケーションを取り、少しでも患者さんが自分らしく生活できるように多職種と連携しながら医療を提供できるようにしていきたいと思っています。



5階看護師 有 園 卓也

「認定がん医療ネットワークナビゲーター」のご案内

がん医療ネットワークナビゲーターとは、日本癌治療学会が育成する「地域におけるがん相談支援員」です。

地域において、がん診療連携拠点病院のがん相談支援センター（がん専門相談員）をサポートし、正確な情報を的確、適切に患者・家族に伝え、患者・家族の疑問に答え、悩みを解決する手助けをするものです。

「ナビゲーター」と「シニアナビゲーター」の2段階認定で、それぞれ段階応じて、下記のようになっています。

- *ナビゲーター：地域に正しいがん情報を伝える。がん相談支援センター（がん専門相談員）へつなぐ役割
- *シニアナビゲーター：がん相談支援センターの地域での支援者。ナビゲーターのリーダー。がん相談支援センターからの情報をナビゲーターと地域に伝える。相談者をがん相談支援センターにつなぐ役割

これまでも、医師、看護師、薬剤師、メディカルクラーク、がんサロニスタッフ、ピアサポートグループ、ケアマネー

ジャー、介護スタッフなどががんに関わる施設・組織に所属する方々が受講されています。（ただし、この認定資格のみをもって医療介入を行うことはありません）。

二人に一人ががんに罹患する時代です。職業や環境の枠を超えて、がん患者やがん患者を支える家族をサポートしてくれるナビゲーターの需要は高まっています。私自身、社会福祉士、精神保健福祉士の資格を持ち、がん相談員支援センターのがん相談支援専門員として働いていますが、がん医療ネットワークナビゲーターの研修を受け、がん相談に関わるなかで、知識を深める必要があると痛感し、シニアナビゲーター、国立がん研究センター認定がん専門相談員の資格を取得しました。

この人吉球磨地域で、一緒にがん患者をサポートして頂く方を募集しています。是非、下記のホームページを覗いてみて下さい。

<http://www.jsco.or.jp/jpn/>

医療福祉連携室 がん相談支援専門員 南 秀明

病院受診のかしこいかりかた ～かかりつけ医はあなたの健康のパートナーです～

皆さんはかかりつけ医をお持ちですか？かかりつけ医とは、初期の検査、治療、定期受診での健康管理をしてくれる身近な医師をいいます。

地元根ざした医療機関の医師をかかりつけ医を持つメリットは、トータルでの健康管理をしてもらえることがまずあげられます。人の身体は年を追うごとに少しずつ変化します。身体の変化を定期的に診て貰うことで、病的な変化が診られた場合の早期発見に繋がります。

健康診断を受けられた後、再検査の通知が届いた場合もかかりつけ医に相談をしましょう。かかりつけ医で対応が困難な場合には、日頃の健康状態や治療内容の情報提供を必要に応じて二次検診を行う医療機関へ提供して貰うことができます。これは、二次検診を行う医療機関で円滑に安全に検査を行い、治療を勧める上で重要なことです。もちろん、再検査の通知が来たら早期に二次検診を受ける必要がありますので、かかりつけ医への相談もできるだけ早くおこないましょう。

また、H 19 年より当院は全患者予約制を導入しています。これは、より専門的な治療を必要とする患者さんや、重症の患者さんに早期に適切な医療を提供するためのシステムです。

一日のうちにおこなえる画像検査や血液検査などの検査、また一人の医師が診察できる人数には限りがあります。そのため当院では皆さんに、かかりつけ医をお持ちいただくようお願いしております。

何科を受診してよいのか分からない、引越したばかりでどこにどんな病院があるのか分からないなどございましたら、予約センターで可能な限りご案内をいたしますので、まずはご連絡ください。

TEL 0966-22-7878（紹介状なし）

TEL 0966-22-1900（紹介状有り）

平日 8:30-17:00

ふれあいの記 ～院内レクリエーションの記録～

院内レクリエーションがスタートして、今年 14 年を迎えました。平成 30 年度の記録『ふれあいの記』と、写真集『ふれあいの日』をそれぞれ一冊の本にまとめました。



患者様との一時々のドラマを記録と写真集にしたためながら、やがて回を重ねるにつれて私自身の毎日が輝き出すような気がしてきました。“夢を与えてくれる言葉、毎日を彩ってくれる言葉、心を和ませてくれる言葉を選んで、ほんの一瞬でも和んでもらおう”そんな気持ちを込めはじめたのです。やがて季節や自然に対する語感が敏感になり、人やものに対する思いが深まってきたように思えるのです。そこに美しいものがあるから美しいのではなく、美しいと思う心があるから美しいのです。心は言葉を通して育つものなのですね。言葉の乱れを嘆く声も相変わらず聞かれますが、日本語が改めて注目されつつあるような風潮も感じられて、内心喜んでこの頃です。日本語は繊細で多彩な言葉です。どの言葉にも人々が関わり、育んできた背景を思わずにはいられません。そして、そんな言葉を多くの方がたとえ共有し、共感し合える場が持てたことは本当に幸せです。

ボランティア 梶原 章子

第 6 回地域医療サポーター養成講座開催！

「人吉医療センターのPET検査について」をテーマに5月22日第6回地域医療サポーター養成講座を開催いたしました。講師は、当院の画像センター井上放射線技師長でしたが、難しい内容を真面目な顔でユーモアを交えながら分かりやすく解説いただきました。

がん細胞は正常な細胞に比べて活動が活発であるため、通常の細胞よりもブドウ糖を多く取り込む特徴があります。PET検査ではブドウ糖に近いFDGという検査薬を注射し、身体に取り込んだFDGががん細胞に集中するのをPETカメラで撮影をします。

PET検査では、検査前の注意事項も多く、何故注意事項としてあげられているのか分かりづらいものもあります。例えば、検査前日の運動制限などは、一見なんの関係もないように思えますが、激しい運動をおこなうことによってFDGが筋肉に集積し、腫瘍にたいして薬剤の取り込みが悪くなってしまうなど、注意事項のひとつひとつに大切な意味があることを今回の講座で学ぶことができました。

地域医療サポーター養成講座では、講座を受けた回数によって、ブロンズ会員、ゴールド会員、プラチナ会員と会員証がかわります。もうすぐ初のゴールド会員も誕生しようとしています。



人吉医療センター地域医療サポーター養成講座は、住民が安心して受けられるように病気の予防のためなどの知識を習得し、自己研鑽に努めるとともに、その知識を地域へ発信できるように設けられた講座です。

地域医療サポーター講座では、随時申し込みを受け付けております。是非ご連絡ください。

<連絡先> 医療福祉連携室 TEL0966-22-2191(内線 240)

医療福祉連携室 小田 薫子

CAMPING してきました



新緑の木々が揺れる5月初旬、あさぎり町のビハ公園キャンプ場に行ってきました。今回は6組の参加がありました。今年からキャンプ同好会改め、アウトドア同好会に変え、活動は主にキャンプをしています。活動も3年経ちました。

2年前異動された整形外科医の林田実先生も熊本市から参加されました。テントを立てたあとは、キャンプ場を探索したり、遊具で遊んだり自然の中で時間は過ぎていきました。夕食は、砂肝のアヒージョをはじめ、焼きそばやバーベキューをしました。ニンニクや玉ねぎのホイル焼きは格別でした。夜は焚火台を囲み、語らいながらゆったりとした時間を過ごしました。とてもリフレッシュでき、改めて「やっぱりキャンプっていいなあ」と思いました。当日勤務で参加できなかったメンバーは、翌日芦北町の御立岬公園キャンプ場でキャンプをし、リフレッシュしました。

外遊びをしたい方や興味がある方は、日帰りキャンプからでも参加をしませんか。声をおかけください。

アウトドア同好会 看護師 矢立 雅章

サイクリングへのお誘い

西日本は夏日となった4月21日、サイクリング部はGREAT EARTH宮崎・日南海岸ライドに参加してきました。

今年は坂道が少ない2コース（60km・100km）が設定され、中村先生・木下さん親子に、部とは別で作業の米倉さん・薬剤の下川さん、視能の平岡さんが100km、山口さん・濱津さん・那須さん・私は60kmで出場しました。当日は早朝肌寒い中スタートでしたが、快晴で日射しも強くすぐに夏日に。普段なら汗だく・無心の状況ですが、坂道が少ないこともあり綺麗な景色や爽やかな潮風を楽しむ余裕もありました。また、エイドで出る美味しい補給食も活力となり終始楽しく走りました。途中怪我のトラブルはありましたが大事には至らず、那須さんは速すぎて準備が整う前にゴール、山口さん濱津さんは逆にゆっくり走るなど皆様々に楽しみ、中村先生も60kmとほぼ変わらない時間でゴールしていました。時期、内容共に良いこの大会、皆さんも参加してみませんか？

サイクリング部 臨床工学技士 菰田 俊介

連携施設
探訪

当院は、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して 地域包括ケアを推進していきたいと考えています。そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設をご紹介します。

今回は「特別養護老人ホーム りゅうきんか」さんです。

特別養護老人ホーム りゅうきんか Vol.29

【施設の特徴・理念】

ゆっくりとした環境の下で、寄り添いながら楽しく明るく過ごして頂くことを理念に掲げサービス提供を行っております。木造平屋建築で自然との調和を基本に、地域に根付いた施設となるよう、ご利用者と地域との連携を強化します。また、自宅での生活を再現できるような環境作りにも取り組んでおります。残存機能を活用できるよう自立支援の観点から援助・介護を提供するように努めております。

【対象者】 要介護3～要介護5の認定を受けた方（入所）

【サービスの内容】

入所（長期入所） 3ユニット 全個室29床
リハビリデイサービス（通所介護） 定員30名
ショートステイ（短期入所） 定員10名
ケアプランセンター

【地域の皆様に一言】

私達りゅうきんかは、地域の皆様が住み慣れた場所でいつまでも自分らしい生活を継続して頂けるよう、皆様の意向を



尊重、創意工夫し、福祉サービスを提供していきたいと思っております。どんなささいなことでも、お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ】

TEL 0966-45-7551 FAX 0966-45-7550
生活相談員 井上 直子、中村 千咲

【訪問者の感想】

りゅうきんかさんは、あさぎり町の免田東駅に隣接する場所に、ひときわ存在感を放ち建っていました。施設内は広大な土地を十分生かし、玄関フロア、廊下、居室等、全てにおいてとても広く造っており、利用者の方が快適に過ごせる環境が整っていました。

私が訪問した際、スタッフの方と利用者の方が一緒にお菓子（りんごのペニエ）作りをされており、施設内にりんごのいい香りがしていました。

《患者会等年間活動計画のお知らせ》

今年も患者会、地域サポーター養成講座を開催いたします。それぞれの年間活動計画を掲載させていただきます。

* 問い合わせ先：医療福祉連携室 TEL：0966-22-2191（内線：240）

★くま川サロン計画

日時：第4水曜日 13：30～（1時間程度）
場所：もちの樹（患者さん図書室）

日時	内容	講師・その他
令和元年 5月22日	PET-CTについて	画像診断センター
6月26日	訪問看護について	人吉医療センター付属 訪問看護ステーション
7月24日	臨床検査技師の業務を紹介 します	栄養士
8月28日	免疫力	緩和ケア認定看護師
9月25日	介護予防のための から だづくり	
10月23日	お薬について	
11月27日	傷の手当てのしかた	感染管理認定看護師
12月25日	アピアランス（外見）ケア について	

★清流ハートクラブ（心臓リハビリテーション患者会）活動計画

日時：第4木曜日 14：00～（1時間程度）
場所：3階講堂

日時	内容	講師・その他
2019年 4月25日	総会（年間計画）	役員、心リハスタッフ
令和元年 5月30日	心疾患について	医師 ★第5木曜日
6月27日	メディアで取り上げられ る栄養情報について	管理栄養士
7月25日	運動について	理学療法士
8月22日	心肺蘇生法	看護師
9月26日	お薬の効果・副作用	薬剤師
10月24日	調整中	医師
11月21日	アドバンスケアプランニ ングについて	社会福祉士
12月19日	座談会（食事会）	役員、心リハスタッフ （弁当代¥500）

備考：12月19日の座談会は原則お申し込みが必要です。

★ひまわり会（乳がん患者会）活動計画日時：第4金曜日 14：00～（1時間程度） 場所：3階 第1研修室

日時	内容	講師・その他
令和元年6月13日★12：00～	乳がんと食事	管理栄養士（食事あり、参加費¥500）
8月8日	乳がん術後の簡単ヨガ	医療クラーク（動きやすい服装でおこしください）
10月10日	日常生活の注意事項	乳がん看護認定看護師
12月12日	アロマでリラックス	看護師（参加費¥500）

備考：6月と12月は原則お申し込みが必要です。

★地域医療サポーター 日時：隔月の第4水曜日 13：00～（1時間程度） 場所：3階 第2研修室

日時	内容	講師・その他
令和元年 5月22日	PET-CTについて	画像診断センター
7月24日	臨床検査技師の業務をご紹介します	臨床検査部
9月25日	介護予防のための からだづくり	リハビリテーションセンター
11月27日	傷の手当ての仕方	皮膚・排泄ケア認定看護師

新 任 紹 介



やまなか まなみ
山本 真奈美（医事課・医療クラーク）

最終卒業校：水俣高等学校
趣味：テニス、映画鑑賞
好きな言葉：一隅を照らす

自分の性格：人見知りしない、マイペース
自分のコマーシャル：笑顔は忘れず！目の前のことからコツコ
ツと。一日でも早く仕事を覚え、皆様のお役に立てるよう頑張
ります。



ひらかわ なるみ
平川 成美（医事課・医療クラーク）

最終卒業校：球磨工業高等学校
趣味：オートキャンプ

嬉しかったこと：最近海釣りを始めて、念願のアオリ
イカを釣りました
自分の性格：おっとりしている
長所：人見知りしません
短所：不器用
自分のコマーシャル：一日でも早く慣れるよう頑張ります。
よろしく願い致します。



なかがみ ひさかず
中神 寿一（経理課・技能員）

最終卒業校：熊本県立人吉高等学校
特技：球磨神楽、獅子舞、人力車を引くこと、観光案内
モットー：Simple is Best

自分の性格：Positive Thinking
自分のコマーシャル：約5年前からの食事改善で当時より約
30kg痩せました。今はとても身軽です。昔の物事が好きで、今春
より大学（通信教育）で歯学の勉強を始めました。人吉球磨の神社
の例大祭（まつり）で国指定無形民俗文化財の球磨神楽を舞うの
で、機会があれば皆さんにもふれてほしいと思います。

5月の勉強会報告

5月14日（火）第98回乳腺カンファレンス

「診断に苦慮した浸潤性乳管癌の一例」

当院 瀬戸 利佳子 臨床検査技師

「当科で経験した髄様癌の症例報告」

当院 臨床研修医 大西 啓志朗先生

「印環細胞を伴った浸潤性小葉癌の一例」

当院 臨床研修医 耕 佳徹先生

5月29日（水）骨粗鬆症フォーラムin人吉

「現代の骨粗鬆症治療」

熊本大学大学院 生命科学研究部

総合医薬科学部門感覚・運動医学分野

整形外科科学講座 教授 宮本 健史先生

